～加工経費の補助で工場の安定稼働と安定雇用を目指す～

株式会社マルキチ（北海道網走市）

背　景　・　課　題

流氷の影響で、12月から翌年3月までは水揚げがなく休業期間となり、生鮮原料の確保が出来なくなることから、年間を通しての生産や工場稼働、更には従業員の雇用の安定化という課題がある。

労働者の高齢化により、生産量が減少傾向であることから、稼働損が生じるため、工場の稼働を制限しなければならない現状がある。

取 組 の ポ イ ン ト

新たに冷凍原料の取扱いにも着手し、実績のあるEU向け輸出をきっかけに生産量の拡大に取組むことで、安定的な工場の年間稼働及び雇用の促進に取り組む。

生産ラインの機械化及び省力化に向け、軌道に乗るまでの一定期間について、コスト高を抑えるために冷凍原料の加工に関する経費の補助を受け、安定的な生産・販売体制の構築に取組む。

取　組　の　成　果

冷凍原料によるホタテガイ加工への着手が実現した。また、製品品質にも問題が生じないことから、次年度以降の本格的な生産及び輸出量拡大への足掛かりに。

プロジェクトフロー

漁業者

流氷の影響で12月から翌3月まで水揚げを行うことができない。
限られた期間で水揚げされる水産物の高付加価値化を望んでいる

株式会社マルキチ

水揚げのない期間は休業期間となるなど、従業員の雇用が不安定
労働者の高齢化で工場の稼働を制限

冷凍原料の取扱に着手し、生産量拡大に取組む

冷凍原料によるホタテガイ加工への着手が実現、生産量拡大

ホタテ貝柱加工

パワポ作成年月
（令和3年3月現在）